

美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅 in シンガポール2012感想文集





シンガポールに行っても驚いたことは、日本人とよく似た人が多かったことです。どこかで日本と繋がっているのかなと思いました。次に学校に出かける時間が早いことです。僕も一緒に6時半頃には出かけました。家ではクッキーなどの軽い物を食べ、学校の食堂でハンバーガーやラーメンのようなものを買って食べるのです。昼食は僕たちのためにバイキングを用意してくれました。他に文ぼう具なども売っていました。わざわざ店に行かなくても買えるので便利だなと思いました。また、教室も教科ごとに違うので少し戸惑うところもありました。ホームステイ先のライアン君と一緒に移動してくれました。他の子とも少し話をすることができました。英語はあまりわからないけれど、何となくお互いの言いたいことがわかるので、不思議だなと思いました。家では、ゲームをやったり日本の事を話したりしました。夜は、ライアン君とライアン君のお父さんと3人で寝ました。ライアン君のお婆さんには、洗濯もしてもらいました。帰るときにはライアン君のお姉さんから手紙をもらいました。僕の両親宛ての手紙でした。ライアン君の家にいた時の僕の様子を書いてくれていました。初めて出会った僕なのにとっても親切にしてくれました。人の温かさに触れることの多かった最高の6日間でした。



ぼくが、シンガポールに行っても一番楽しかったことは、サイクリングに行ったことです。家族みんなで行きました。だいたい行ったところで昼食をとりました。昼食を食べていると雨が降ってきましたが、雨はすぐにやんで再開できました。また走っていくとアイスクリームのお店がありました。いっぱい走ってからのアイスはおいしかったです。最後のほうになると知らないところでお菓子を買いました。そのお菓子はすごくおいしかったです。頑張ってたどり着くとだいぶ疲れていました。でもすごく楽しく思い出に残る日でした。他にもセントーサや家でパソコンゲームをしたり映画を見たりして楽しみました。シンガポールの学校にも行って授業を受けました。何をやっているのかはちょっとはわかったけど何を言っているのかは全然わかりませんでした。でも回る消しゴムを持っている子やおもしろい子がいました。何を言っているのかはわからなかったけど楽しかったです。最終日には、シンガポールのみんなとお別れして美浜町のみんなとマーライオン公園にいたり、シンガポール政府観光局や日本人会や日本人墓地公園（音吉の墓）に行って勉強したり、ナイトサファリに行っても楽しんだりしていろいろ学びました。空港に行くとシンガポールの友達がいました。友達とお別れは寂しかったです。シンガポールでは、英語で全然会話ができなかったけど、とても楽しくやれてよかったです。ぼくはシンガポールに行っても本当によかったと思っています。また行ける機会があったら行きたいです。



初めての海外旅行、初めての飛行機、1人でホームステイをするなんて…ワクワク、ドキドキ、行く瞬間まで、夢のようでした。英語は、習っているので少しでも話せるのかなと、少しだけ自信があったけど、いきなり中国語で話された時にはもうだめだと思いました。でも、ホストファミリーとの対面式でクリスタルとその家族に出会って、写真を撮ってもらってから、お母さんが握手をしてくれたので、限界まではいけると思いました。それからその家族の家に案内してもらいました。マンションなのに広くて床が真っ白でびっくりしました。クリスタルといっしょにゲームやお絵かきで遊びました。いつからかわからないけど、だんだん仲がよくなりました。私のために来る前から、日本語の勉強をしてくれていました。学校でも、とてもいっぱい友だちができてうれしかったです。土、日は、ユニバーサルやセントーサに連れて行ってくれました。いとも来てくれて、夢がカメラマンなので、私のためにカメラでいっぱい写真を撮ってくれました。私はどこのホームステイでもよかったけど、ここが1番私は楽しかったです。すてきな家族のみなさんに会えたことに感謝します。とてもお世話になりました。私を泊まらしてもらったシンガポールの家族と、シンガポールに行かしてくれた私の家族には、本当に感謝しています。



私のシンガポールでのホームステイ先はマレー系の家でした。お母さんが頭にスカーフのようなものを巻いていました。外出する時は、いつも巻いて出かけていました。暑いのに大変だなあと思いました。ホームステイ先では、人生ゲームみたいなゲームをやりました。やり方は、説明してくれたのに英語は、よくわかりませんでした。でもなんとかできました。シンガポールの人は指で数字の2を作るとき、親指と人差し指を立てるという形で2を作りました。日本とはちがうんだなあと思いました。食事の時には、まきずしを作ってくれました。日本ののりやわさびも準備してくれていました。やり方を聞かれてうまく説明できなくて、困ったけれど、ファミダと一緒に作りました。せっかく作ったのにうまく切れなくて、まいたのにバラバラになってしまい笑いました。わさびはスパイシー？と聞かれたので、イエスと答えました。でも、少しにしないと大変なことになるとうまく言えなかったのが、ファミダがたくさんわさびを入れたので辛くなってしまいみんなで大笑いしました。日本とシンガポールの違いをホームステイで感じる事ができたので良かったです。今回はうまく英語が伝わらなかったのが、今度行く機会があったら英語をしっかりと勉強していきたいです。



私は、シンガポールに行く前に不安なことがありました。それは、英語が話せないのでコミュニケーションがとれるか心配でした。でもホストファミリーはパソコンで英語を日本語になおしてくれたり、ジェスチャーをしてくれたりしたので安心しました。1日目のホストファミリーとの対面式はすごく緊張しました。2日目は、朝6時15分くらいに家を出て学校に行きました。学校では、ペアの子の授業を見ていました。午後からは、シンガポール・フライヤーに乗りました。3日目はセントーサ島に行ってマーライオンを見たり、水と光のショー（ソング・オブ・ザ・シー）を見たりしました。4日目は家でペアの子と弟と遊びました。5日目はイーミン小学校でお別れ会をしました。お別れ会ではソーラン節を踊りました。午後からは、シンガポール政府観光局、シンガポール日本人会、日本人墓地公園、ナイトサファリに行きました。ナイトサファリではいろんな動物を見ました。私は1番セントーサ島が楽しかったです。なぜかというあまり見れないショーを見れたのでよかったです。2番目によかったのはシンガポール・フライヤーです。世界一高いし地上から見れない建物などが見れたのでよかったです。シンガポールに行った6日間楽しい思い出がたくさんできたのでよかったです。



私は、シンガポールに行くととてもよかったですと思いました。初めは大丈夫かなと思ったけど、みなさんととても優しく接してくださったので、楽しく過ごす事ができました。1日目には、ホストファミリーの家族のみなさんと対面して、夜ご飯を食べてから、ホストファミリーの家族の家に行きました。とても緊張していましたが、みなさん優しく、英語が分からない時には、携帯を使って日本語に直してくれました。2日目には学校に行って、午前中は授業に参加しました。でも、全く分かりませんでした。昼ご飯は、学校の食堂で食べました。私は、学校に食堂があるなんていいなと思いました。午後からは、博物館に行ったり、観覧車に乗ったりしました。博物館では、いろいろなことが分かりました。観覧車に乗っていい景色が見えたのでよかったです。学校に戻ってから、家に帰りました。次の日、2日間は、日本の友達や大人の方に会えないので不安でした。でも、休みの日には、家族のみなさんがサイクリングや買い物に連れて行ってくれたり、一緒に折り紙を折ったりしてくれました。とても楽しくて、不安な気持ちはありませんでした。5日目は、学校に行って授業をやってからお別れ会がありました。悲しかったです。お別れをしてからいろんな所に行きました。それから、空港に行って日本へ帰りました。私はとてもいい思い出ができました。またシンガポールへ行きたいです。



私がシンガポールに行って印象深かったことは3つあります。1つは、思っていたよりも植物が多かったことです。私はビルや建物がたくさんあるのかなぁと思っていたのですが、緑が多くて風景も良くとても美しい所でした。2つ目は、シンガポールは多数珍しい物があることです。シンガポールには、マーライオン、マリナーベイサンズ、大観覧車、音吉の墓地など珍しい物が多数ありました。私は珍しいものがたくさんあっていいなぁと思いました。なぜなら、有名な物を一目見ようといろいろな国の人達が来て、そして他の国の人達と交流できるので、シンガポールは日本以外の国の人達とも仲良くできるからです。3つ目は、日本から送られた食べ物や飲み物をシンガポールの人達は、身近に感じてくれていることです。学校の食堂に日本のジュースが置かれています。とてもおいしいジュースでした。私は、今回シンガポールに行けてとても嬉しく思っています。この旅の思い出は決して忘れません。今回シンガポールに行かせてくれた親に感謝したいと思っています。今回、大きく成長したと思うのは、直接英語に触れ、英語で伝えようと努力できたことです。これからも英語で伝えることを忘れないで、コミュニケーションをとるように勉強して努力したいと思いました。



私は初めての外国旅行で、出発前はとても楽しみでしたが、不安もありました。でも、行ってみたら私のホストファミリーはみんなとても優しく親切にしてくれました。土、日には、いろいろな観光地に連れて行ってくれました。私はチャイナタウンや植物園やスリ・マリアマン寺院に行きました。植物園ではとても大きな人工の木にびっくりしました。シンガポールは日本と違うところがたくさんありました。シンガポールはマンションに住んでいる人が多いです。マンションの庭にはプールがあって、住民が朝夕に泳いでいてびっくりしました。学校では、生徒が授業中に自由にお茶を飲んでいても注意されないのいいなと思いました。シンガポールでの食事はあまり口に合いませんでしたが、2回ほど日本食の店に連れて行ってくれました。ラーメン店でしたが、メニューが日本語で書いてあったのでよかったです。やっぱり日本のご飯はおいしいなと思いました。他にもいろいろなところを見学しました。マーライオン公園やシンガポール・フライヤーはシンガポールの代表的な観光地で、実際に見ることができてよかったです。シンガポール・フライヤーからの眺めは最高でした。1番楽しかったのはナイトサファリです。ハイエナなど見たことがない動物が見られて興奮しました。今回の旅で、いろいろなことを体験しましたが、言葉が通じなくてもコミュニケーションがとれて楽しく過ごせたことが1番いい体験になりました。他の外国にも行ってみたいと思いました。



今回ぼくは、初めてシンガポールに行って、いろいろな体験が出来ました。ぼく達の小学校とイーミン小学校では、授業中の様子が全く違いました。座ったままみんなで意見を言い合ったり、水を飲んだりしてとても自由な感じでした。ホストファミリーとの休日はとても楽しくて、ユニバーサルスタジオやプールへ行ったり、公園でみんなとサッカーをしたりすることもできました。最初は、ホストファミリーの人の言葉が分からずに困ったりもしましたが、携帯電話で訳した日本語を見せてくれてだんだんコミュニケーションもとれました。ほとんどが外食で味に慣れず、タイ米もパサパサしていて、ぼくはやっぱり日本のお米やみそ汁が好きだなと感じました。でもホストファミリーの皆さんは、とても優しくてすごく仲良くなれたし、たくさん写真ももらって、帰ってきてからも何度もメールをくれています。もっと英語の勉強をして、メールのやり取りを楽しみたいです。日本とシンガポールの交流は、音吉のおかげで8年前から始まっています。今はイーミン小学校の来校は震災の影響ではありませんが、いつかシンガポールの子供たちに自然豊かな美浜町を楽しんでもらいたいです。今回の研修を支えてくださったたくさんの方々や、ホストファミリー、両親に感謝します。ありがとうございました。また、行かせてください。



私がシンガポールに行って学んだこと、思ったことはたくさんあります。1つ目は、シンガポールの文化などです。シンガポールの文化で日本と違うところはたくさんありました。その中のいくつかを発表します。日本とちがうところの1つ目は、食事のときのマナーです。日本では、全部食べないと失礼になると思われているけど、シンガポールでは、全部食べるとまだおなかが空いていると思われて、おかわりがどんどん出てきます。2つ目は、お風呂です。日本では、湯ぶねがある家が多かったり、温泉などがあつたりするけど、向こうでは、シャワーしか無い家が多いし、温泉なども他人に裸を見せるのが恥ずかしいと思う人が多いです。このように日本の文化とシンガポールの文化は全然違うことがわかりました。シンガポールですごいなと思った事もたくさんありました。シンガポールはすごく緑を大切にしている国で、木を一本切るにも政府の許可が必要ぐらいです。それに水も大切にリサイクルしていると聞いたので何でも大切にする国なんだなと思いました。しかも多民族国家でいろんな国の人達が集まっているのを知りました。私はシンガポールに行って違う国の人で言葉もあまり通じないのに優しくしてくれて嬉しかったです。思い出に残りました。



私を受け入れてくれたホームステイ先の人達は、私にとっても優しくしてくれました。言葉も何となくだけど言っている事がわかったし、私の言いたい事も通じたし、とても楽しく過ごす事ができました。遊園地に連れていってもらいトリック写真を撮ってもらったりゲームのやり方を聞きながらやったり楽しかったです。部屋の窓からプールが見え、行きたいなあと考えていたら連れて行ってくれました。食事は、日本食に慣れているので、シンガポールの食事は口に合いませんでしたが、ステイ先のお母さんが作ってくれたチーズ入りオムレツが最高においしかったです。音吉の事は、今まで音吉という名前だけしか聞いた事はありませんでしたが音吉について色々な話が聞けたし、お墓の周りに花がきれいに咲いているのも見れたし、行ってよかったです。他に、世界最大級の観覧車のシンガポール・フライヤーに乗れて、きれいな景色を見る事もできました。ナイトサファリでは、たくさんの動物を見ることができました。ただ残念だったのは、カメラの充電がなくなり写真が写せなかったことです。ホームステイに行けたことに感謝し、今回は何となく通じた言葉でしたが、もっと英語を勉強し、普通に話せるようになりたいです。まずは、ステイ先の子と文通を試してみようと思います。親がいなくても、自分の力で過ごす事ができて、いろいろ自信をつけて帰ってこれました。



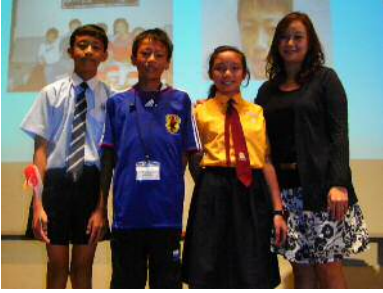
ぼくは、シンガポールに行ってさまざまなことを学んだりしました。行く前はいろいろな事が不安でしたが、実際シンガポールに着いてから、少し緊張がとれました。初めてホストファミリーの人に会った時は、何を話せばいいのかもわからず夜までへんな空気が続きました。けれど、勇気を出して話しかけたら優しく返事を返してくれました。イーミン小学校にいた時は、あまりの大きさに驚きました。シンガポールの授業は日本の授業とちがって、午後の授業がありませんでした。この事もすごく驚きました。休日に、ユニバーサルスタジオに連れて行ってくれました。シンガポールのユニバーサルもたくさんの乗り物があって楽しかったです。特にパレードは迫力があってすごかったです。セントーサ島にも行きました。セントーサ島にはお父さんマーライオンがいました、博物館とシンガポール・フライヤーと政府観光局、音吉のお墓にはみんなで行きました。博物館はすごく大きくてきれいでした。中にはシンガポールの歴史がわかる物などが置かれていました。シンガポール・フライヤーは世界一大きい観覧車とあってすごく高くてすごい絶景が見れました。政府観光局は、シンガポールの歴史や新しくできるレジャー施設の水族館や動物園についても教えてもらいました。音吉のお墓には音吉についての事がたくさん書いてありました。音吉さんのおかげでこの体験ができたので、とても感謝しています。シンガポールではさまざまなことを学びました。とてもいい体験になったと思います。シンガポール草の根交流に参加させてくれた父・母に感謝しています。また、行く前に色々手伝ってくださったり、見守ってくださった町や学校の方達にも感謝しています。



この旅でぼくはホームステイの良さが改めて分かりました。ホテルでは分からない普段の生活を知り、いろいろな文化を学べることができたからです。ぼくが学びたかった事が学べました。まず食事で1番びっくりしたのは「いただきます」と「ごちそうさま」がなかったことです。2番目にびっくりしたことは、ドリアンです。お酒とビールと腐った卵の臭いがしてとても耐え難い臭いでした。最後、片付けた後に寝室に臭いがたまり、外にでてしまったりしました。次にびっくりしたことは、日本の会社のダイソーやセブンイレブンなどがあったことです。ダイソーはほとんど同じでした。しかし、セブンイレブンはすごく違いがありました。まずは日本には無い、シャーベットジュースやプリンになる液を自分で作ったりできて、2ドルで作って食べられるのです。それはアップル味とコーラ味があってとてもおいしいです。そこで驚いたのは、お金を払う前に飲み始めていいということです。日本では泥棒と思われてもいいほどの行動です。シンガポールでは、いろいろな新しいことが学びました。多文化多民族はとてもいいことだと思いました。学びや楽しさがいっぱい詰まった旅ですごくためになりました。



ぼくは、シンガポールに行ってよかったです。理由はとてもいい思い出をたくさん残せたからです。シンガポールでは大変だった事や驚いた事、楽しかった事などいっぱいありました。それを4つに分けて紹介します。まず、初めにホストファミリーは、どんな家族なのか知りたかったです。滞在した5日間、とても優しくしてくれました。言葉を、ゆっくり話してくれたので、聞きとれたけど、自分の話したい事は、とても表現しにくく難しかったです。2つ目は、イーミン小学校の事です。ぼくは、イーミン小学校にたくさんの友達ができました。驚いた事が2つあって、校内に食堂があるという事と、字を書く時にインクが青色のボールペンを使っていたことです。消すのは、修正テープです。びっくりしました。3つ目は、世界一大きい観覧車、シンガポール・フライヤーに乗った事です。高さ約165mもあったので怖かったけれど、シンガポールの町を一望できて感動しました。最後は、食事です。ホームステイ先では、朝と昼のご飯が毎回ヌードル（ラーメン）だった事と、夕食のほとんど外食だった事に驚きました。ぼくの家はあまり外食をしないのでずいぶん違うなと感じました。今回、1番のサプライズだったのは、ホームステイ先に7年前、音吉トライアスロンに参加するために美浜町が招待して、ぼくの家ホームステイした、デイビットさん一家が会いに来てくれたことです。再会できた事がすごく嬉しかったです。デイビットさん一家ともホストファミリーとも一緒に楽しい一時を過ごしました。最高の思い出になりました。今回の旅に係ってくださった皆さん本当にありがとうございました。



僕は、日本とシンガポールの違いを学びたいと思いこの旅に参加しました。シンガポールへ到着してすぐに気が付いたことは、ゴミが少なく町が綺麗だということです。行く前から耳にしていたことですが、実際に自分の目で確認することができました。ニースン中学校で印象的だったのは、みんなが電子端末を持っていて、ほとんどの時間にそれを使っていることです。図書館も本が少なく電子書籍を利用しています。

とても情報教育が進んでいると感じました。うらやましいと思った反面、クラスの3分の2ぐらいの生徒がメガネをかけているのは、そのことも原因なのかなと思いました。ホームステイ先では、子ども達だけで電車に乗って市内観光へ行くことができました。図書館へ行ったり、ショッピングをしたりしました。観光旅行では得られない、実際のシンガポールの生活を体験できました。言葉が通じなくても身振り手振りで気持ちを伝え、英語も少しは話すことができ自信ができました。シンガポールの人たちはとても親切で楽しくホームステイを終えることができました。最終日に行った日本人墓地には、「音吉ここに眠る」と日本語で刻まれた石碑がありました。僕たちが今、シンガポールと交流ができてるのは音吉さんの功績があったからだと思います。感謝の心がわきました。6日間でいくつもの発見があり、素晴らしい体験をすることができました。



シンガポールと日本は食べ物、お風呂など違うところがたくさんありました。言葉も英語と日本語で違うので、言いたいことが伝わらず困ったこともありました。知っている単語を言ったり、ジェスチャーを使ったりして伝えました。食べ物は見たことのないものばかりでした。いろいろ出していたき、口に合わないものもありましたが、シンガポールの料理をたくさん食べることができました。シンガポールは多民族なので、いろいろな国の食べ物があり、それを食べることは、とても良い経験になりました。

また、学校でも多民族なので中国語やマレー語の勉強をしていました。英語や中国語など、いろいろな言葉がしゃべれて、すごいなと思いました。同じ理科や美術の授業でも言葉が英語に変わるだけで、普段私たちが受けている授業とは全然違いました。英語の授業、英語の会話をしてみてもっと英語の勉強をしようと思いました。私は、シンガポールと交流をして、いろいろな国の生活や文化に直接触れられるという、貴重な体験ができて本当に良かったです。学校生活や文化、そして新たな人との出会いなど、何もかもが新鮮で面白かったです。また行く機会があれば、ぜひ行きたいです。こういう機会をいただいて感謝しています。



私は今回の交流で、学んだことや思い出に残ったことがたくさんありました。シンガポールでは初めて家族や友達と離れて生活しました。ホストファミリーのみんなは、英語しか喋れないのでコミュニケーションをとるのが大変でした。でも伝わったときは心からうれしかったです。ファミリーのみんなも簡単な日本語をつかって話しかけてくれました。そうやって会話ができた時、私も少しだけ日本とシンガポールをつなぐことができたかなと思ってうれしかったです。ホームステイが2日目や3日目になると、英語も少しずつ理解できるようになってきました。それでたくさんコミュニケーションをとることができました。シンガポールでは日本人墓地にも行きました。日本人墓地には音吉のお墓はもちろん、音吉と一緒に来た日本人のお墓もありました。音吉のことを、シンガポールの人たちはみんな知っていました。そしてとても好かれていました。そんな人と同じふるさとで、誇らしいなと思いました。私がシンガポールにいる間、シンガポールの人達は英語のわからない私にもたくさん話しかけてくれました。おかげでたくさんの子と交流ができて仲良くなることができました。美浜町の代表として、交流の形をとらないとできないことが多かったと思います。学ぶことが多い、心に残った6日間でした。



私のホストファミリーはマレー人でした。日本ではイスラム体験をすることが難しいので、それができた私は、幸運に恵まれていたと思います。マレー人はイスラム教の人が多そうです。イスラム教は、偶像崇拜というのを禁じているようで、人形や絵を飾ったりしてはいけません。それを聞いて家を見回してみると文字を使った絵ならいいということがわかりました。私のホームステイ期間が、イスラム暦で日本では言うお正月でした。そのため、マレーの民族衣装を着てホストファミリーの親戚の家をまわりました。私にも民族衣装を貸してくれたので良い思い出になり、本当にうれしかったです。2日で12軒もの家をまわりました。どの家もマレーのお菓子があり、時々食事も出てきて食べました。マレーの食べ物はどれもおいしかったです。ホストファミリーや親戚の人たちはとても優しい人達でした。学校ではいろいろな授業を受けました。すべて英語で話しているのでどんな内容なのかほとんどわかりませんでした。その分、帰国してからもっと英語を勉強しよう、という気持ちが出てきました。振り返ると、シンガポールでは、家族や友達の大切さ、国と国との文化の違いなどとてもたくさんを学ぶことができました。



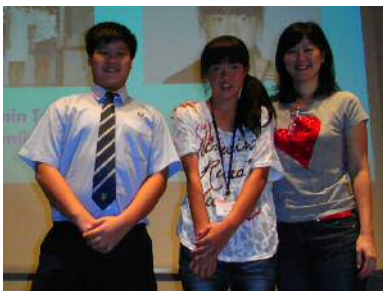
私がシンガポール交流の中で、印象に残っていることは、交流にいったニーアン中学校の授業と体験学習、そして、ホストファミリーと一緒に過ごした時間です。シンガポールでは、たくさんの友達をつくることができました。私は中国語が喋れるので、あんまり言葉で困ることはありませんでした。シンガポールでは、漢民族が多いこともわかって、とても驚きました。それから、私とホームステイ先の友達5人は、シンガポール日本人学校の夏祭りにいきました。そこでは、シンガポール人もゆかたをかりて、ヨーヨーつりや盆踊りを楽しんでいました。会場には8千人もの人が集まっていました。私たち5人は、はじめはステージのまわりで盆踊りを楽しんでいましたが、とても盛り上がり、最後は大きなステージの上で踊ることになりました。もともと中国からきた私の周りに、日本、シンガポールのインド系、マレー系、華人など多くの人達が集まっていました。踊っていたら、国籍とか国の境界なんて関係ないように思えました。心が1つになり、世界が1つになった気持ちになりました。この6日間、ホームステイという貴重な経験ができて本当に良かったです。将来、通訳を目指している私にとって3つの言葉を駆使して楽しむことができ、最高の思い出になりました。



今回の旅で、いろいろな事を体験することが出来ました。それと共にたくさん感じた事もありました。まずは、外国の料理を食べた事です。シンガポールは、多国籍料理が多く、最初は匂いや味に慣れずに食べられませんでした。だんだんとチャレンジして食べることができました。シンガポールドルでの買い物や、ニーアン中学校の生活も新鮮でした。他にも、シンガポール・フライヤーから見下ろしたマリーナ・ベイ・サンズの夜景は大変素晴らしく、何枚も写真を撮りました。ホストファミリーとの会話には、スピードに慣れず、とても苦しみました。初日は全く話せず、すぐ寝てしまいました。ジェスチャーや電子辞書を使いながら、少しずつ自分の言いたい事が伝わるようになり、通じる事がとても嬉しかったです。シンガポールは、思っていたよりも都会で、田畑はなく、マンションやビルが建ち並び綺麗な街でした。外食がほとんどで家政婦さんが何でも世話をしてくれました。日本との異文化に驚く事も多かったけど、世界にはもっと様々な人々の暮らしがあるのだろうと感じました。この6日間、とても貴重な体験が出来た事は、引率の先生や役場の方々、何よりホストファミリーの皆さんのおかげだと感謝しています。今まで以上に世界への壁が低くなり、機会があれば外国にもと思っています。本当に、一生の宝物となる旅をありがとうございました。



私は、このホームステイで貴重な体験をしました。そして、たくさんの文化の違いを知る事ができました。中でも、驚いたことは、学校の生活と食生活です。学校では、授業がとてもハイテクだったことや、授業中なのに携帯電話を触っていたり、席を立っていても先生から注意を受けなかったりしたことです。食生活では、朝や夜の12時過ぎにマクドナルドに行ったこと、1日の食事の回数が4・5回あったことです。他にも、学校で授業と授業の間の休憩に、食堂で朝食や昼食と同じような量の食事を食べていたことです。私たちの学校には食堂がなく、携帯電話やお金も持ってきてはいけないといわれているのでニースン中学校がとても自由だと感じると同時に、日本の学校や生活様式の良さにも気付くことができました。ホームステイは、ビビエンという子の家でお世話になりました。終日ホームステイでは、ショッピングモールやシンガポール最大の図書館などへ行きました。みんな、歩くのが早かったので私はいつも一番後ろを歩いていました。するとビビエンが「前、前」と私を前にして、1番後ろを歩いてくれました。気遣いがとてもよくて、優しい子だと思いました。私はビビエンの家にホームステイし、仲良くなることができ嬉しかったです。ただ、あまり英語を積極的に話すことができず日本語が分かるビビエンやファミリーに頼ってしまったことが、今回の反省点です。たくさんのことを学べたこの4泊6日は最高の思い出となりました。これからも、ビビエンとの交流を続けていけたらいいと思います。



私はシンガポールでたくさんの思い出を作ることができました。その中で1番は、ユニバーサル・スタジオ・シンガポールに連れていってもらったことです。これは私のホームステイ最後の日の前日に行ったのでとても印象に残っています。私は日本のユニバーサルにも行ったことがなかったので行くことができ本当によかったです。ユニバーサルにはとてもたくさんの乗り物があって楽しかったです。その乗り物に酔ってしまうということもありましたが良い1日となりました。シンガポールでは知らないこと、分からないことがたくさんあって大変だったけど、私にとって良い体験になりました。異なる文化、日本とはかなり違う食生活、全てがすごく新鮮でした。食生活で驚いたことは、「毎食外食」という点です。少なくとも私の家では毎食外食というのはなく、家で食べることが多いと思います。朝、昼、夜、全て外食というのはとても驚きました。今まで1度も外国に行ったことがなく今回の旅はとても不安に思っていました。しかし家族や友達いろいろな人たちに支えられてこの旅を無事に終えることができました。本当に感謝しています。これからもシンガポールとの交流を深めていって欲しいと思います。本当にお世話になりました。



私は、このホームステイの旅に参加して、シンガポールの文化やコミュニケーションをとる難しさを知ることができました。シンガポールでは、ニールン中学校の子と仲良くなれてよかったです。コミュニケーションをとる事は、とても大切だと思いました。難しかったけど、少しでも英語で話せてよかったです。シンガポールのホストファミリーは、とても優しくしてくれました。学校が休みの日には、セントーサ島や植物園につれていってくれました。セントーサ島は、たくさんアトラクションがあってとても楽しかったです。植物園は、たくさんの花があって、とてもキレイでした。写真もたくさん撮りました。最終日の市内観光では、マーライオンやマリナーベイサンズ、シンガポール・フライヤーを見て、写真を撮ったり、ショッピングをしたりしました。そして、ナイトサファリの前に夜ご飯を食べました。ナイトサファリまでの時間は自由時間だったので、私はドクターフィッシュをやりました。くすぐったかったけど、足がツルツルになって良かったです。ナイトサファリでは、夜の動物の姿をトラムカーに乗ってみました。とてもおもしろかったです。今回、ホームステイをして、とても良い経験をしたと思うし、良い思い出をつくる事ができました。この経験をいかしていきたいです。



今回、私のシンガポールの旅での目標は、「シンガポールの生活や文化を学び、日本についても伝えてくること」でした。4泊6日という短い期間でしたが、シンガポールでホームステイを体験してみて、私なりにシンガポールの文化を学び、日本のことも伝えてくる事ができました。シンガポールと日本との違いで1番思ったのは食事です。シンガポールでは、外食がほとんどで、量はすごく多く、野菜はあまり食べませんでした。においや味も独特で口に合わないものもありましたが、チキンライスやフィッシュボールヌードルなどは、食べやすくとてもおいしかったです。また、ホームステイ先のジェイジェイは、私のたどたどしい英語も一生懸命理解しようとしてくれて、本当に優しくしてくれました。そして、もうひとつ知ることができたものがあります。それは、「日本の良さ」です。もちろんシンガポールの良さもたくさん知ることができましたが、日本を離れて異文化を感じたことで、今まで当たり前だと思っていた日本の良さを新たに知ることができました。例えば、衛生面、車のマナーなどです。あと、街を見れば半分以上が日本車だったり、スーパーに行けば、日本製品がたくさん並んでいたりしたことも発見でした。このシンガポールの旅は、私にとって、素晴らしい発見と出会いがたくさんありました。本当にありがとうございました。



私がまずシンガポールに行って感じたことは、当たり前だとは思っていましたが、言語が違ったことです。何を言っているかわからなかったり、分かっていても早すぎたり、なまりがあったりして、聞き取れなかったりしたので、これからのホームステイが少し心配でした。学校に行って、ホームステイをするホストファミリーに会ったときに、普通に日本語を話していたので、少しびっくりしました。どうやら、ホストファミリーのジャジャは、アニメが大好きで、それで日本語を覚えたと言っていました。私はその時、とても安心したのを覚えています。アニメ文化は普通に海外でも通じるんだ…と思った瞬間でした。これからがとても楽しみになった瞬間でもありました。土日の週末ホームステイの時、土曜日は、1日インドアになった気分でした。丸1日アニメを見て過ごしたというのは最近なかった体験だったので、色々楽しかったです。見たアニメはいろいろありますが、多く見た中で、「涼宮ハルヒの消失」と「大神さんと7人の仲間たち」が特に面白かったです。日曜日はセントーサ島に行ったり、大きなショッピングセンターに連れて行ってもらったりしました。大きなショッピングセンターの中にはちゃんとアニメショップもあって、ちょっとうれしかったです。結果的に、よい研修になりました。機会があれば、また行きたいです。



引率者感想文

野間中学校 校長 寺田 眞一

美浜町フレンドシップ草の根国際交流団の団長として、25名の小中学生とともに、シンガポールを訪問できたことに感謝しています。

文化も生活習慣も違う。もちろん日本語は通じない。そんな中でホームステイを体験した子どもたちは、立派に交流を成し遂げ、全員成長して帰ってきました。

言葉が通じなくて、きっと何度もコミュニケーションに失敗したのでしょうか。しかし、相手の気持ちになって考え、接していくうちに、次第に気持ちが通じ合っていたことでしょう。そこには、「仲良くなりたい強い気持ち」、「相手の失敗を許すおおらかな気持ち」がお互いにあったからだと思います。今回の体験は、これからの人生に大いに生かされていくことに違いありません。

また、シンガポールの人々との交流を通じて、「私たちは、音吉がつなぐ縁でシンガポールに行くことができたんだ」と強く感じさせられました。今回、音吉の名が、シンガポールの人たちに広く知られ、敬われていることを知りました。私たちは、音吉の名前は知っていても、意外に詳しい業績を知りません。美浜町の子どもたちが、もっと音吉のことを知って、将来、音吉とともに郷土を誇りに思い浮かべられる大人になってほしいと思いました。

25名の子どもたちは、シンガポールですてきな人たちと出会い、親切にしてもらいました。外国からのお客さんと接する機会があったら、進んで親切にするでしょう。これから、シンガポールの良さや音吉のすばらしさを広めていくでしょう。シンガポールでの、一生忘れられない貴重な体験を胸に抱いている子どもたちは、すでに日本とシンガポールの親善大使です。



私は今回、国際交流がもたらす子ども達の変化を楽しみにしながら引率をさせていただきました。そして、六日間という期間が、これから視野を広げていく成長期の子ども達にとって、何倍もの価値をもつ大きな学習の機会となったことを確信して帰って来ました。

振り返ると、初日の子ども達は、緊張の面持ちでホストファミリーと対面し、とまどいながらも知っている英語を組み合わせて、身振り手振りで頑張っていました。不安が残る顔のまま各家庭へ分散していく背中を見送ったことは、私にとっても印象深い思い出となっています。

翌日の朝会った中学生からは、難しさを感じつつも、伝えようという意志があればわかりあえる、という確かな手応えを感じている自信がうかがえました。

その後交流を終えて再会した小学生は、数日前とはうってかわった抜群の笑顔で、楽しそうにステイ先の友達を紹介してくれました。

文化や価値観の多様性が、発想の豊かさにつながっている社会を、この歳で目にした子ども達。将来、グローバルな視点でものを考えていく基盤になるものと思います。この交流を糧にして、飛び級をしたように大きく成長した姿に立ち会えたことを、心からうれしく思います。また、私自身の学校訪問では、授業を見る機会もいただきましたが、生徒の発言を引き出すための工夫が多く、様々な示唆に富んでいました。自分自身が見聞きしたことを、今後多くの生徒に伝えていきたいと考えています。

上野間小学校 教諭 溝口 恭平

今回「フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅」の小学生の引率という立場で、参加させていただきました。

事前学習会ではシンガポールの歴史や英語について勉強したり、パフォーマンスに真剣に取り組んだりする姿を見て、子ども達のやる気に満ち溢れる気迫を感じました。出発する時には、不安を感じていた子が多かった気がしましたし、またホストファミリーと初めて対面した時にも、ぎこちない笑顔だった子もいました。やはり、言葉が通じないかもしれないというプレッシャーが大きかったのかもしれませんが、しかし、次の日はどうでしょう。多くの子がニコニコしていて、言葉は通じなくとも、身振り手振りを使って自分の考えを伝えているではありませんか。もちろん、事前学習で学んだ英語はきちんと伝わっていたようです。しかし、言葉以上に心で交流しているのだな、ということを感じることができました。

シンガポール最後の日、話を聞いてみると、「まだ帰りたくない。もっと一緒にいたい。」という声もあれば、「全然食事が合わなくて、ほとんど食べられなかった。早く日本のごはんが食べたい。」という声もありました。良い思い出も、そうでない思い出も、子ども達にとっては一つ一つが貴重な体験です。この日本や自分だけに目を向けるのではなく、広い視野をもって、この交流で学んだことをこれからの生活に活かしてほしいと思います。

今回の草の根交流事業に参加するにあたり、私自身も同じ小学生と中学生の子供を持つ母親でもあるため、遠く離れたシンガポールの地へ、ホームステイの旅に送り出す親御さんの不安は計り知れないものがあったかと思います。私も引率するにあたり、子供たちの健康管理や言葉の問題に、不安はたくさんありました。しかし、事前の学習会から目をキラキラと輝かせ、これから始まる旅に心躍らせている子供たちを見ていると、子供たち、そして親御さんの不安を少しでも解消できればという思いで参加しました。

シンガポールという国は、国土が狭く資源もないため、諸外国と肩を並べるためには人材を育成する他はないと、教育に力を入れていると聞いていました。さすがに今回訪れた、ニアン中学校での教育施設は目を見張るものがありました。

シンガポールは多民族国家で、日本とは違い、様々な文化がある国です。小学校や中学校でも様々な人種の人たちが通っており、普段から異人種と触れ合うことで、お互いに多文化を理解し合っているとの事でした。歴史的にも、日本がシンガポールを植民地にしてきた経緯もありますが、シンガポールで暮らす人は、日本国や日本人に対し、前向きに向き合ってくれており、見習うべきことが多く感じられました。

今回の草の根交流では、子供たちにとって想像以上にとてもよい経験になったと思います。この経験がきっと子供たちの将来にきっと役立つことと思います。

また、私自身にとっても、普段の生活では味わうことのできない良い経験になりました。このような機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。

学校教育課 主事 鈴木 太一

私は今回、去年に引き続きこのシンガポール派遣事業の担当をさせていただきましたが、子供たち全員が安全に旅行をすること、また子供たちの今後の大きな思い出、経験となってもらえるような旅にすることを第一に考えて担当業務をさせていただきました。

役場職員としてですが、旅行中は子供たちと直接触れ合う事が出来、彼らの様子や表情を直に見ることができました。シンガポールへ行くまでは、海外の旅行に対する期待や事前学習で勉強した英語等を試してみるぞとの意気込みとともに家族から離れて一人でホームステイすることなどに対する不安が入り混じった様子や表情をしていました。しかし交流を終えて美浜に帰ってきたときは家族や先生、役場の職員に出迎えられ安心したとびきりの笑顔とともに、シンガポールで外国の方と触れ合ってきたことや、外国で貴重な体験をしてきたぞ、との自信にあふれる表情をみせてもらいました。そのような子供たちの表情の変化を見させてもらい、今回の国際交流が意義あるものであったと確信できました。

シンガポールでは、ホームステイ先や学校で元気よく交流をし、政府観光局や日本人会、日本人墓地公園では現地の方の話をしっかりと聞き、積極的にシンガポールのことを学ぼうとしていました。保護者の皆様も子供が一回り成長して帰ってきたのに気づかれています。そのような貴重な体験をしてきた児童・生徒の皆さんに私からお願いしたいことがあります。それは今回体験したこと、また海外で体験して感じたことを大切にして、このことを今後の高校、大学また社会人と成長していく中で生かしていただきたいという事です。世界はシンガポールだけでなく、様々な国があります。今後は世界に興味を持ち世界とつながるチャンスを自らつかみ、多くの海外の人たちと係わり、体験することによって見聞を広め美浜町から世界に羽ばたいてほしいと願っています。